

令和 8 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	聴覚検査		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	前期 木曜	教室名	第4校舎301
担 当 教 員	叶 陽子	実務経験とその関連資格	総合病院、クリニックにて言語聴覚療法に従事(成人・小児の聴覚検査等)			
《授業科目における学習内容》						
聴覚機能検査の原理や理論、また検査者としての心構えや注意点を学び、理解を深める。演習を通して検査技術や評価方法を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・「聴覚検査の実際」 ・配布資料 						
《授業外における学習方法》						
予習・復習として教科書や配布資料を読んでおいてください。						
《履修に当たっての留意点》						
授業中や予習復習時などに分からない点があれば、そのままにせず質問し解決してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚検査の基礎知識として、用語や難聴の種類を理解し説明できる	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	聴覚検査に関する基礎知識として、耳の構造と機能、難聴について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚検査に必要な音の基礎知識を理解し説明できる	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読んでおく 前回の復習	
		各コマにおける授業予定	各種聴覚検査に必要とされる音響学について学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	標準純音聴力検査の手順を理解し説明できる	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読んでおく 前回の復習	
		各コマにおける授業予定	オーディオメータの使用法、純音聴力検査(気導検査及び骨導検査)の手順・注意点等を学ぶ			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	検査演習を通して、気導聴力検査の技術を習得する	教科書 配布資料 検査機器	スムーズに演習がすすめられるよう手順を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	気導聴力検査の演習			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	マスキングについて理解し、説明できる	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読んでおく 前回の復習	
		各コマにおける授業予定	マスキングの必要性や手順、及び留意点について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	検査演習を通して、骨導聴力検査の技術を習得する	教科書 配布資料 検査機器	スムーズに演習がすす められるよう手順を復習 しておく
		各コマにおける授業予定	骨導聴力検査の演習		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	語音聴力検査の手順を理解し、説明できる	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読 んでおく 前回の復習
		各コマにおける授業予定	語音聴力検査の手順・注意点等を学ぶ		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	検査演習を通して語音聴力検査の技術を習得する	教科書 配布資料 検査機器	スムーズに演習がすす められるよう手順を復習 しておく
		各コマにおける授業予定	語音聴力検査の演習		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴性誘発反応の各検査の原理、方法について理解し説明できる	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読 んでおく 前回の復習
		各コマにおける授業予定	ABR、ASSR、蝸電図などについて原理を知り、検査手順や評価法を学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	補充現象について学び、その検査方法や評価法を理解し説明できる	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読 んでおく 前回の復習
		各コマにおける授業予定	ABLB、SISIテストを中心に補充現象について学ぶ		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	演習を通して手技を獲得し、評価できる	教科書 配布資料 検査機器	スムーズに演習がすす められるよう手順を復習 しておく
		各コマにおける授業予定	ABLB、SISIテスト演習		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	演習を通して手技を獲得し、評価できる	教科書 配布資料 検査機器	スムーズに演習がすす められるよう手順を復習 しておく
		各コマにおける授業予定	ABLB、SISIテスト演習		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	新生児スクリーニング検査、耳音響放射について原理や検査方法を理解し説明できる	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読 んでおく 前回の復習
		各コマにおける授業予定	新生児スクリーニング検査、耳音響放射の種類について学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	各種幼児聴力検査について原理を知り、検査手順や評価法を理解し説明できる	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読 んでおく 前回の復習
		各コマにおける授業予定	発達に応じた乳幼児聴力検査について、それぞれの特徴や注意点について学ぶ		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	演習を通して各種乳幼児聴力検査の検査技術を習得する	教科書 配布資料 検査機器	スムーズに演習がすす められるよう手順を復習 しておく
		各コマにおける授業予定	各種乳幼児聴力検査、音場検査の演習		

令和 8 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	聴覚検査		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期 木曜	教室名	第4校舎301
担 当 教 員	叶 陽子	実務経験とその関連資格	総合病院、クリニックにて言語聴覚療法に従事(成人・小児の聴覚検査等)			
《授業科目における学習内容》						
聴覚機能検査の原理や理論、また検査者としての心構えや注意点を学び、理解を深める。演習を通して検査技術や評価方法を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「聴覚検査の実際」、配布資料						
《授業外における学習方法》						
予習・復習として教科書や配布資料を読んでおいてください						
《履修に当たっての留意点》						
授業中や予習復習時などに分からない点があれば、そのままにせず質問し解決してください						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	自記オーディオメトリーについて、原理や手順、評価法を理解し説明できる	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	自記オーディオメトリーの原理を知り、検査手順や評価法を学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	インピーダンスオーディオメトリーの原理、方法について理解し説明できる	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読んでおく 前回の復習	
		各コマにおける授業予定	ティンパノメトリー、アブミ骨筋反射検査について原理を知り、検査手順や評価方法を学ぶ			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	インピーダンスオーディオメトリー、自記オーディオメトリーの検査技術を習得する	教科書 配布資料 検査機器	スムーズに演習がすすめられるよう手順を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	インピーダンスオーディオメトリー、自記オーディオメトリー検査演習			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	インピーダンスオーディオメトリー、自記オーディオメトリーの検査技術を習得する	教科書 配布資料 検査機器	スムーズに演習がすすめられるよう手順を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	インピーダンスオーディオメトリー、自記オーディオメトリー検査演習			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	機能性難聴、耳鳴り、方向感、MCL・UCLについて検査手順や評価法を理解する	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読んでおく 前回の復習	
		各コマにおける授業予定	機能性難聴や耳鳴り、方向感、MCL・UCLの特徴を知り、検査原理や評価法を学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	耳鳴り検査、MCL・UCL検査について、演習を通して技術を習得する	教科書 配布資料 検査機器	スムーズに演習がすすめられるよう手順を復習しておく
		各コマにおける授業予定	耳鳴り検査及びMCL・UCL検査の演習		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床場面でSTが関わることのある検査について理解を深め、説明できる	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読んでおく 前回の復習
		各コマにおける授業予定	臨床場面で関わる主な検査について学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	症例をもとに、各種聴覚検査の組み合わせや評価法を身につける	教科書 配布資料 AV機器	テキストの該当箇所を読んでおく 前回の復習
		各コマにおける授業予定	症例をもとに臨床を想定した各種聴覚検査の組み合わせ方や評価法を学ぶ		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			